



初代秘書が語る

三浦綾子の 生きた日々

初代秘書78歳!!

この年齢になって気が付いた三浦家の居間で聞いたことの意味。
晩年、綾子さんが語っていた「死ぬという大切な仕事」の実態。
目撃した者の証言を、お聞きください。

三浦綾子初代秘書 宮嶋裕子氏

1948年中国生まれ。1970年に三浦綾子の初代秘書となり、1972年結婚の為退職したが、1999年二代目秘書召天の為秘書復帰。その秋、綾子召天。2005年まで、三浦光代秘書として勤務。2015年には上顎歯肉癌のため上顎の半分近くを切除。しかし、「生かされてある限り三浦文学を語り伝えたい」と各地で講演を続けている。著書『三浦家の居間で』（いのちのことば社）、『神さまに用いられた人三浦綾子』（教文館）、CD『ガリラヤの風かおる丘で（賛美・三浦綾子対談入り）』（いのちのことば社/ライブ企画）

宮嶋裕子さんと共に交わりの会

13年間の闘病生活を経て三浦光世さんと結ばれた堀田綾子さん。「氷点」「道ありき」「塩狩峠」など99冊を世に送り出しました。1999年に天に召されましたが、今も多くの人々に読まれ続けられています。初代秘書の宮嶋裕子さんとはしばし交わりの時を持ちます!

無料

自由献金あり



2026 **9/26** 土

13:00~15:30

会場 大阪クリスチャンセンター

大阪市中央区玉造2丁目26-47

地下鉄長堀鶴見緑地線「玉造駅」徒歩5分
JR環状線「玉造駅」徒歩12分

主催 三浦綾子読書会大阪連絡会

申込先 横谷俊一（単立 岸和田福音キリスト教会）☎090-8142-9685
森 茂輝（日本キリスト教団 天満教会）☎090-9705-4598
大阪クリスチャンセンター ☎06-6762-7701

